

# 平成30年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名	大和市下草柳児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター下草柳会館管理運営委員会 会長 齋藤 俊衛
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日

## 1. 事業報告概要

### 【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
下草柳	26	2,616	470	57	3,169	17	182

(空調工事により平成30年9月～平成31年1月は休館)

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施(主な事業)

事業名	開催期間	参加者数
こどもの日工作(金太郎人形・こいのぼり作製)	4/24～29	12人
母の日プレゼント作り(風船スクイーズ人形作製)	5/8～11	51人
ドミノ大会(制限時間内でドミノを積む競争)	5/22～25	38人
父の日のプレゼント作り(木製デスクラック作製)	6/12～15	45人
七夕飾り作り(ストローヒンメリ作製)	6/26～29	17人
七夕の集い(七夕のお話・ターゲットゲームなど)	7/5	42人
夏休み工作①(ウッドピンチのロッキングチェア作製)	7/24～26	21人
夏休み工作②(ふしぎなコースター作製)	8/1～3	25人
卓球教室(柳橋体育振興会に講師依頼)	8/4, 11	26人
なつまつり(ヨーヨーつり・お菓子つり・プラバン工作など)	8/23	40人
中央地区ふれあい広場(出張児童館として協力) プラバン工作	11/18	200人
ひな工作(うさぎのおひな様作製)	2/19～23	16人
スイーツデコ工作(紙粘土等でマカロン他作製)	3/16	18人
作って遊べる工作(牛乳パックでフリスビーを作り遊ぶ)	3/26～29	15人

### 【事業実施状況に関する補足説明】

特になし

## 2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,640,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	1,823,103
休館中の精算分 (空調工事期間)	△676,897	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	139,856
収入計 (①)	1,963,103	支出計 (②)	1,962,959

収支決算	144
------	-----

※収支差額 144 円は、令和元年度特別会計に繰り入れます。

### 【収支決算に関する補足説明】

空調工事により平成 30 年 9 月～平成 31 年 1 月の間休館した為、指定管理料から 676,897 円を市に返還。

## 3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 31 年 3 月に利用者アンケートを実施し、平成 30 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。</li> <li>自主事業については、工作、行事等の開催内容を館内において早めに案内を行うとともに、各事業終了後に随時ホームページの更新を行うなど、広く事業を周知し、平等な利用の確保及びサービスの向上を図っている点を評価します。</li> <li>利用者アンケートの配布数が昨年度より増え、回収率も前年度同様 100.0%を維持している点を高く評価します。(H29 年度 50 枚、H30 年度 59 枚)</li> <li>「スタッフの対応」については、利用者アンケート回答者の 89.8%が「よい」～「ふつう」と回答しており、継続して高い水準を維持している点を評価します。</li> <li>児童館利用者数が前年度比 70.4%と減少していますが、空調工事による閉館が 5 か月間あったことを考慮すると平年並みの利用者数と思われます。今後も利用者の意見を精査し、更なるサービスの向上が図られることを期待します。</li> </ul>
<p>評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。</li> <li>自主事業については、卓球教室に柳橋体育振興会に講師を依頼するなど、児童がより関心を持って参加出来るように工夫している点を評価します。</li> <li>工作・行事の開催内容は早めに館内等で周知を行い、工作内容についても学年の幅を考え検討し、異学年交流を含め、様々な体験を通じて、積極性や協調性を養う取り組みを行っている点を高く評価します。</li> <li>他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童により多くの体験の機会を与えられるような、企画の広がりを期待します。</li> </ul>
<p>評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空調工事を 9 月～1 月の 5 ヶ月間行い、施設の適切な維持・管理に努めています。</li> </ul>
<p>評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断します。</li> <li>指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。</li> </ul>